

第30回記念 いせはら市展 作品募集

いせはら市展 は、文化・芸術創作活動の発表の場や鑑賞の機会を広く設けるとともに、様々な分野の市民の支援のもとに実施することにより、市民の皆様に文化・芸術に対し深い関心を持っていただき、心豊かな活力あるまちづくりに貢献することを目的として実施しています。

■会 期

前期【絵画・版画・彫刻、陶・工芸】 令和7年6月11日（水）～15日（日）

後期【書、写真】 令和7年6月25日（水）～29日（日）

午前9時～午後5時 ＊各会期最終日は、午後4時まで

■開催場所

伊勢原市立中央公民館 1階 展示ホール

作品募集

※必ず募集要項（2・3ページ）及び応募規程（4ページ）をお読みください。

◆募集期間（申込書提出期間） ※申込書の提出がない場合、作品はお受けできません。

前期【絵画・版画・彫刻、陶・工芸】 令和7年5月 1日（木）～5月14日（水）

後期【書、写真】 令和7年5月15日（木）～6月 1日（日）

◆受付方法

①窓口受付

市内市立公民館7館（中央、大山、高部屋、比々多、成瀬、大田、伊勢原南）

※休館日を除く 休館日：毎週月曜日及び祝日

（中央は最終週以外の月曜日は開館、大田は第1・3月曜日は開館）

②電子受付

応募規定（4ページ）内のWEB申込フォームにより申込み。

◇作品搬入日時

前 期

令和7年6月 8日（日）

後 期

令和7年6月22日（日）

・時間 午前9時30分～10時30分

・場所 中央公民館1階 展示ホール

※出品料をご持参ください。

◇作品搬出日時

前 期

令和7年6月15日（日）

後 期

令和7年6月29日（日）

・時間 午後4時～5時

・場所 中央公民館

入選作品：1階 展示ホール

選外作品：1階 応接室



「いせはら市展」は有審査の公募展で、各部門で審査を行い、優れた作品を表彰します。
活動の成果を発表する機会として、ぜひご出品ください。ご応募をお待ちしております。

◇お問い合わせ◇

いせはら市展実行委員会事務局 伊勢原市教育委員会社会教育課

TEL 0463-93-7500

・・・いせはら市展実行委員会・・・

第30回記念いせはら市展 作品募集要項

* 4 ページの「応募規程」もご確認ください

1 主 催

いせはら市展実行委員会 伊勢原市教育委員会

2 協 力

伊勢原市文化団体連盟 伊勢原美術協会 伊勢原写真連盟
伊勢原市書道会 伊勢原市社会教育委員会議 陶・工芸部門有識者

3 募集部門・種別（種類）等

部 門	種別（種類）等
(1) 絵画・版画・彫刻	油彩、水彩、日本画、版画、水墨画、彫刻、その他
(2) 書	漢字、かな、小字数、調和体、写経、その他
(3) 写真（単写真）	1部（風景、ネイチャー）、2部（人物、スナップ、その他） ※審査において区分（1部・2部）が異なると判断した場合、実行委員会が区分を修正することがあります。
(4) 陶・工芸	種類 陶芸、染色・染織、漆芸、金工、木竹工、革工芸、ガラス工芸、 その他（ザイ、鎌倉彫、布絵、和紙絵、切絵、七宝焼きなど） 素材 布、金属、木、竹、革、ガラス、紙など 技法 染色・染織…型染、蠟染、スクリーン捺染、つづれ織、かすり織など 漆芸…蒔絵、沈金、螺細、キンマ、彩漆、彫漆など 金工…鋳金、鍛金、彫金など 木竹工…編む、組む、結ぶ、絞るなど 革工芸…打つ、彫る、絞る、編むなど ガラス…宙吹き法、型吹き法、押型法など

4 会 期

- (1) 前期【絵画・版画・彫刻、陶・工芸】 令和7年6月11日（水）～15日（日）
(2) 後期【書、写真】 令和7年6月25日（水）～29日（日）

5 会 場

伊勢原市立中央公民館展示ホール（伊勢原市東大竹1-21-1）

6 応募資格 ※(1)(2)のいずれにも該当する方

- (1) 満15歳以上の人（中学生及び中等教育学校前期課程の生徒は除く。）
(2) 市内在住、在勤、在学、若しくは近隣市（厚木市・秦野市・平塚市）在住の人又は市内で主たる創作活動をする人

7 募集期間（申込書提出期間）

- (1) 前期【絵画・版画・彫刻、陶・工芸】 令和7年5月 1日（木）～5月14日（水）
(2) 後期【書、写真】 令和7年5月15日（木）～6月 1日（日）

※窓口での受付時間は午前9時～午後5時です。

※出品料の支払いは作品搬入時です。

※出品申込書は、郵送でも受け付けます（前・後期とも申込書提出期間最終日必着）。

〒259-1133 伊勢原市東大竹1-21-1 社会教育課あて（中央公民館内）

8 申込場所

伊勢原市立公民館 7館（中央、大山、高部屋、比々多、成瀬、大田、伊勢原南）

※休館日を除く。 休館日：毎週月曜日及び祝日

* 中央公民館は最終月曜日以外、大田は第1・3月曜日は開館

9 審査員（敬称略）

絵画・版画・彫刻	千田 肇	前秦野美術協会会長 秦野市展・秦野美術協会展審査員長	写真	尾辻弥寿雄	（公社）日本写真家協会会員 日本リアリズム写真集団会員 現代写真研究所運営委員長 現代写真研究所専任講師
	源馬 和寿	伊勢原美術協会会長 たぶろう美術協会審査員		宮本 遼	
	西巻 一彦	伊勢原美術協会会員 彫刻家			
	舞出 圭子	伊勢原美術協会会員 たぶろう美術協会評議員			
書	高橋 翔鳳	日本蘭亭会理事 翔鳳会主宰	陶・工芸	繁昌 孝二	日展準会員 日本新工芸家連盟理事
	相部 小香	読売書法会理事		水谷 俊雄	日展会友 日本新工芸家連盟審議員

10 審査結果

- ・審査結果は、次の日時までに市ホームページで公開しますので、ご確認ください。
【公開日】前期：6月10日（火） 後期 6月24日（火）
- ・ホームページが閲覧できない方は、次の日時以降にお問い合わせください。
【日時】前期：6月10日（火）午前9時 後期：6月24日（火）午前9時
- ・入選作品のみ会場で展示します。
- ・受賞者には表彰式の案内状を郵送します。

11 各 賞

◆部門ごとに次の賞を付与します。＊ただし、審査の結果によってはこの限りではありません。

- ①いせはら市展大賞 1人 ②伊勢原市長賞 1人 ③伊勢原市議会議長賞 1人
④伊勢原市教育委員会賞 1人 ⑤優秀賞 若干名 ⑥審査員奨励賞 若干名

12 表彰式（各部門入賞者）

- ・日時 令和7年6月29日（日）午後1時から 中央公民館 3階 会議室A

13 審査員講評（ギャラリートーク）

各部門下記日程で午後2時30分から4時まで、展示会場にて入選作品を鑑賞しながら作品に対する講評を行います。 ＊どなたでも参加いただけます。

- ①絵画・版画・彫刻:6月14日（土） ②陶・工芸:6月15日（日） ③書、写真:6月29日（日）

14 「いせはら市展」無鑑査

“無鑑査”とは、その展示会で多くの入賞作品を制作した作者の作品が、鑑査（審査）なしで展示されることを指します。いせはら市展（以下「市展」という。）出品者についても、市展での成果をもとに、その創作活動を高く評価し、後進の模範とすることを目的に、無鑑査の規程を設けています。

「いせはら市展」無鑑査の要件等

- 第10回市展以降、同一部門において市長賞又は、市展大賞を合計2回受賞した人であること。
- 無鑑査の要件を満たす人には、実行委員会で承認後、通知する。
- 実行委員会が出品依頼し、展示する際は、「無鑑査」であることと過去の市展受賞歴を表示する。
- 出品にあたっては、1点までとする。

15 その他

- (1) 作品の移動、保管・展示に際し、不慮の損傷には責任を負いません。
- (2) 出品者は、審査及び展示について、一切、異議申し立てはできません。
- (3) 展示作品は、期間中いかなる理由があっても、撤去・搬出はできません。
- (4) 作品の搬入・搬出日は1ページに記載しているとおりです。指定の日時厳守とし、宅配便等による搬入・搬出はお受けできません。
- (5) 入賞作品及び入賞された方の氏名や作品名は、市広報紙、市ホームページ等に掲載する場合があります。但し、住所や電話番号等の個人情報は一切公開いたしません。
- (6) この要項に定めのない事項は、実行委員会が別に定めます。

第30回記念いせはら市展 応募規程

◆全部門共通◆ ※WEB申込は、各部門枠内にあるQRコードから申請ください。

- (1) 出品点数 各部門1人2点以内
 (2) 出品料 一般 1点目：2,000円 2点目：1,000円
 学生 1点目：1,000円 2点目：1,000円 ※出品料は、作品搬入時にご持参ください

(3) その他・注意事項

- 「出品申込書」を募集期間内に提出していない場合は、出品できません。
- 作品は自作（工芸は共同作品も可）のオリジナルで、他者の著作権を侵害していないもの及び審査を伴う公募展に応募し、展示、報道、書籍記載などされていない作品に限ります。ただし既作品の部分修正は同一作品とみなすことがあります。
- 作品の展示場所や位置については、主催者に一任していただきます。
- 額装の場合、**ガラス額装は不可**。必ず**吊り金具及び吊りひも**をつけ、**吊りひもは緩まないようにきつく張った状態**にしてください。
- 本規程に反していることが判明した時は、審査結果（入賞、受賞）を後日取り消す場合があります。

◆前期【絵画・版画・彫刻、陶・工芸部門】◆

◇絵画・版画・彫刻◇

【絵画】

- ・キャンバスサイズは10号以上150号以下のもの（Sサイズは10号以上100号以下）。
- ・これによらないものは短辺が33cm～182cm、長辺が53cm～228cmのもの。
*額の長さは含みません。
- ・額、仮額等で壁面に展示出来るもの（掛け軸も可）。

【版画】

- ・木版画は短辺が30cm～182cm、長辺が42cm～228cm以下のもの、銅版画等は短辺が22cm～182cm、長辺が27cm～228cm以下のもの。
- ・マット幅を広く取ること。

【彫刻】

- ・高さ200cm×幅150cm、奥行100cm以内で、重量100kg以内のもの。
*本人以外でも展示・移動が可能なもの。
- ・素材は、木、石、金属、樹脂、石膏など
*流木、木の根など、自然に存在したものをそのまま作品としたものは、出品不可。
- ・展示中に転倒・破損等の危険がないもの。
- ・作品に正面がある場合は、明記すること。
- ・台座が必要な場合は、各自で用意。
作品を際立たせるような華美なものは不可。



◇陶・工芸◇

- ・作品が、タテ150cm×ヨコ150cm×高さ150cm以内で、重量20kg以内のもの。
*台座を含む場合も上記の範囲内で、作品を際立たせるような華美なものは不可。
- ・作品は出品者自身の創作によるものとし、キット、手芸に準じるものは除く。
- ・本人以外でも、展示や移動が可能なもの。
- ・額装については、◆全部門共通◆を確認すること。
- ・展示中に転倒・破損等の危険がないもの。
- ・工芸作品は、出品申込書の所定の欄に「素材」と「技法」を記入すること（募集要項P.2参照）。
- ・作品が共同制作であるときは、その代表者1名を出品者とする。この場合、共同制作者の氏名も附記することができる。なお、共同制作者も応募資格に該当する方であること。



◆後期【書、写真部門】◆

◇書◇

- ・作品本体の大きさが、タテ250cm×ヨコ182cm以内のもの。
- ・折帖、巻物は、“公開する範囲”が100cm程度のもの。
- ・額装（◆全部門共通◆を確認）、枠装、軸装、仮表装等の表装を施すこと。
- ・額装、枠装、軸装は、吊りひもを必ず付けること。
- ・漢字作品には落款を、臨書には「臨」の記入をすること。
- ・1額装につき、1点表装とすること。



◇写真◇

- ・サイズは、A3、A3ノビ、半切、全紙とし、A4、四つ切、ワイド四つ切は不可とする。
- ・パネル（マットパネル含む）張り又は額装（◆全部門共通◆を確認）を施し、吊りひもを必ず付けること。
- ・白黒写真は可、組み写真は不可。
- ・他のコンテストで入選・入賞した作品の類似作品は不可。
- ・加工した作品（デジタルにおける不自然な加工を指す）は不可。
- ・肖像権に係る作品は、必ず被写体の了承を得ること。

